

NACCS（植物検疫関連業務）実務手引書
（NACCS パッケージソフト利用者向け）

植物防疫所

2.0 版

（令和 7 年 10 月）

改定履歴

平成 20 年 10 月 7 日	初版 1.0	
平成 22 年 2 月 21 日	1.1	Air-NACCS 更改により、Air-NACCS でも合格理由書を受けること及び繰返部（欄部）の 20 欄までの入力が可能となったことによる修正。
平成 23 年 1 月 13 日	1.2	IPA 入力時、特定の文字を記事欄に入力すると登録時にエラーとなることが判明したため修正。
平成 25 年 10 月 13 日	1.3	システム名を PQ-NETWORK から NACCS（植物検疫関連業務）に変更。
平成 29 年 8 月 9 日	1.4	第 6 次 NACCS 更改。IPA 項目の追加変更及び輸出植物検査申請のパッケージソフト実施可能化により EPA 及び EPD 業務追加。
令和 6 年 8 月 1 日	1.5	IIP 及び EIP では申請状況を照会しないため記載を修正。
令和 7 年 10 月 1 日	2.0	第 7 次 NACCS 更改あわせ修正。

目次

はじめに	4
1 利用環境.....	4
2 利用申込み手続き	4
3 輸入検査申請の操作方法と各項目の入力方法	4
(1) 輸入検査申請を行う	4
(2) 申請内容を訂正する	7
(3) 申請状況を確認する	8
4 輸出検査申請の操作方法と各項目の入力方法	9
(1) 輸出検査申請を行う	9
(2) 輸出検査申請（再輸出）を行う	13
(3) 申請内容を訂正する	17
(4) 申請状況を確認する	17
5 トラブル解決手順とお問い合わせ先.....	17

はじめに

NACCS 植物検疫関連業務とは、植物検疫に係る輸出入植物の検査申請書の提出や各種通知書類の受け取り、申請状況の確認を行うことができる NACCS の一機能です。この手引書は、パッケージソフトを利用して NACCS から輸出入植物の検査申請をする際の簡易なマニュアルです。機能の詳細については NACCS 掲示板の Web サイトで公開している業務仕様書・EDI 仕様書を参照してください。

なお、Web からの輸出入植物の検査申請については、植物防疫所 Web サイトに掲載している利用マニュアル等をご確認ください。

1 利用環境

NACCS を利用できる環境が必要です。

2 利用申込み手続き

NACCS センターにて申込を行ってください。別途植物防疫所への届出は必要ありません。

3 輸入検査申請の操作方法と各項目の入力方法

(1) 輸入検査申請を行う

新規に申請を行う場合は、IPA（輸入植物検査申請事項登録）を選択し、必要事項を入力・登録（送信）し、IPC（輸入植物検査申請）で申請（送信）を行ってください。また、IPA のみを行い、後で IPB（輸入植物検査申請事項呼出し）で呼び出して申請（IPC）を行うこともできます。

【共通部】（IPA（輸入植物検査申請事項登録）画面）

IPA 輸入植物検査申請事項登録

ファイル(F) 表示(V)

共通部 輸送部

申請番号※ - -

電子植物検疫証明書 (ePhyto) の有無※ ☐

電子植物検疫証明書 (ePhyto) 発行国 (ISO2コード)

積載船(機)※

入港日※

輸出港※ -

經由港 -

卸下場所 -

B/L

荷受人

住所

荷送人※

住所※

P.C. 番号

記事

【繰返部】（IPA（輸入植物検査申請事項登録）画面）

IPA 輸入植物検査申請事項登録

ファイル(F) 表示(V)

共通部 検近部

1 /4

01 種類・名称※ - - - -

ブランド 種類数※ 細数※ - 数量※ -

コンテナ数 産地※

02 種類・名称※ - - - -

ブランド 種類数※ 細数※ - 数量※ -

コンテナ数 産地※

03 種類・名称※ - - - -

ブランド 種類数※ 細数※ - 数量※ -

コンテナ数 産地※

04 種類・名称※ - - - -

ブランド 種類数※ 細数※ - 数量※ -

コンテナ数 産地※

05 種類・名称※ - - - -

ブランド 種類数※ 細数※ - 数量※ -

コンテナ数 産地※

画面入力ガイド

【共通部】

申請番号	「所・業務担当コード（輸入貨物検査申請）」（申請先の所コード 3 桁＋業務担当コード 2 桁）を入力する。申請通番は自動的に割り振られる。
共通番号	税関の輸入申告及び他省庁とのリンクを結ぶ場合は「Y」を入力し、輸入申告等の手続きで共通管理番号を既に取得している場合は共通管理番号を入力する。既に結んだリンクを取り外す場合は「N」と共通管理番号を入力する。
協会経由	協会経由の場合は「Y」を入力する。協会から申請情報が参照可能になる。
控出力	入力控を出力する場合は「Y」を入力する。
電子植物検疫証明書（ePhyto）の有無	ePhyto 対象国（「ePhyto 対象国コード」あり）であって、電子植物検疫証明書（ePhyto）が有の場合は「Y」を入力する。ePhyto 対象国ではないまたは電子植物検疫証明書（ePhyto）が無の場合は「N」を入力する。
電子植物検疫証明書（ePhyto）発行国（ISO 2 コード）	電子植物検疫証明書（ePhyto）が有の場合は、発行国の ISO 2 コードを入力する。対象国は「ePhyto 対象国コード」を参照のこと。
積載船（機）	積載船名または積載機名を入力する。
入港日	船または航空機の入港年月日を入力する。
輸出港	輸出港を「国連 LOCODE」で入力する。
経由港	経由港（最終経由港）を「国連 LOCODE」で入力する。
卸下場所	卸下場所の「保税地域コード」を入力する。 または各植物防疫所からの指示に基づき卸下場所名を入力する。
B/L	B/L 番号、AWB 番号を入力する。
荷受人	「輸出入者コード」または法人番号を入力する。コードが無い場合は空欄とし、荷受人氏名を入力する。
住所	荷受人住所を入力する。
荷送人	荷送人氏名を入力する。
住所	荷送人住所を入力する。
PC 番号	PC（植物検疫証明書）番号を入力する。
記事	申請先植物防疫所から指示のあった事項や連絡事項等を入力する。

【繰返部（欄部）

種類・名称	「種類・名称コード（大中小細分類コード、植物コード）」で品目を入力する。大分類 2 桁＋中分類 2 桁＋植物コード＋小分類 2 桁＋細分類 2 桁で入力
-------	--

	する。(例：飼料用トウモロコシ 07-13-62922100-(空欄)-(空欄))
ブランド	ブランドや品種名を入力する。
種類数	種類数を入力する。1 品目に 1 種類の場合は「1」を、球根等品種単位で検査する場合はその種類数を入力する。
梱数	梱数を入力する。梱数単位は「梱数・数量コード」で入力する。
数量	数量を入力する。数量単位は「梱数・数量コード」で入力する。
コンテナ数	<u>海上コンテナ貨物の場合のみ</u> コンテナ本数を入力する。1 申請複数欄の場合は一番数量が多い欄にコンテナ本数を入力し、他の欄のコンテナ本数欄は「0」を入力する。
産地	「国名及び州名（地域）コード」で入力する。

(注) 申請に使用する各種コードについて

a. 以下のコードについては、植物防疫所が設定するコードを利用します。

NACCS 掲示板の業務コード集「植物検疫業務関連コード」をご参照ください。詳細は最寄りの植物防疫所にお問い合わせください。

- 所・業務担当コード（輸入貨物検査申請）
- 種類・名称コード（大中小細分類コード）
- 種類・名称コード（植物コード）
- 梱数・数量コード
- 国名及び州名（地域）コード
- ePhyto 対象国コード

b. 以下のコードについては、NACCS 提供のコードを利用します。

NACCS 掲示板の業務コード集をご参照ください。各コードの詳細は NACCS センターにお問い合わせください。

- 国連 LOCODE
- 輸出入者コード
- 保税地域コード

(2) 申請内容を訂正する

1. 申請者から申請先植物防疫所に電話等で変更承認依頼を行います。
2. 植物防疫所側で審査・変更承認が行われます。変更後は変更の回数分、申請番号に枝番号(数字)が付与されます（例：変更 1 回目の場合→700-11-0000001/1）。
3. 申請者は IPB で変更後の申請番号で該当する申請を呼び出し、IPA で申請内容を訂正し（IPA で送信を行うと一時保存状態となります）、IPC で訂正後申請を行ってください（IPC で送信を行うと本申請となります）。

(3) 申請状況を確認する

IIP（輸入植物検査申請個別詳細）では、1 申請について詳しい申請内容を確認することができます。IPI（輸入植物検査申請一覧照会）では、複数申請について申請内容や申請状況の一覧を確認することができます。

4 輸出検査申請の操作方法と各項目の入力方法

(1) 輸出検査申請を行う

新規に申請を行う場合は、EPA（輸出植物検査申請事項登録）を選択し、必要事項を入力・登録（送信）し、EPC（輸出植物検査申請）で申請（送信）を行ってください。また、EPAのみを行い、後でEPB（輸出植物検査申請事項呼出し）で呼び出して申請（EPC）を行うこともできます。

【共通部】（EPA（輸出植物検査申請事項登録）画面）

【繰返部】（EPA（輸出植物検査申請事項登録）画面）

画面入力ガイド

【共通部】

申請番号	「所・業務担当コード（輸出検査申請）」（申請先の所コード 3 桁＋業務担当コード 2 桁）を入力する。申請通番は自動的に割り振られる。
協会経由	協会経由の場合は「Y」を入力する。協会から申請情報が参照可能になる。
控出力	入力控を出力する場合は「Y」を入力する。
電子植物検疫証明書 （ePhyto）発行要求	ePhyto 対象国（「ePhyto 対象国コード」あり）であって、電子植物検疫証明書（ePhyto）発行要求を行う場合は「Y」を入力する。電子植物検疫証明書（ePhyto）発行要求を行わない場合は「N」を入力する。
積載船（機）名（欧文）	積載船名または積載機名がわかる場合は入力する。
輸送手段	「輸送形態コード」で入力する。
記号及び番号	梱包に付される記号等を入力する。不要の場合は「NONE」と入力する。
積載予定年月日	積載予定日を入力する。
積載港名（欧文）	輸出港・空港名を入力する。
陸揚港名（欧文）	陸揚港を「国連 LOCODE」で入力する。コードが不明の場合は「ZZZZZ」を入力し、陸揚港名を入力する。

輸入国名（欧文）	「国名及び州名（地域）コード」で入力する。
荷送人氏名（欧文）	「輸出入者コード」または法人番号を入力する。コードが無い場合は空欄とし、荷送人氏名を入力する。
荷送人住所（欧文）	荷送人住所を入力する。
荷受人氏名（欧文）	荷受人氏名を入力する。
荷受人住所（欧文）	荷受人住所を入力する。
輸入国政府の輸入許可番号	輸入許可証がある場合は入力する。
合計梱数（単位含む）	証明書に記載する合計梱数を入力する。
記事	植物防疫所への連絡事項等を入力する。検査希望日時・場所、担当者名、連絡先の入力を推奨。

【繰返部（欄部）】

種類・名称	種類・名称コード（大中小細分類コード、植物コード）で品目を入力する。大分類 2 桁＋中分類 2 桁＋植物コード＋小分類 2 桁＋細分類 2 桁で入力する。（例：飼料用トウモロコシ 07-13-62922100-(空欄)-(空欄)）
学名（欧文）	学名を入力する。
ブランド・品種名	ブランドや品種名を入力する。
種類数	種類数を入力する。1 品目に 1 種類の場合は「1」を、球根等品種単位で検査する場合はその種類数を入力する。
梱数（単位含む）	梱数を入力する。
数量	「梱数・数量コード」の単位に沿った数量を入力する。
数量（単位含む）	証明書に記載する数量を入力する。（左欄に数量、右欄に単位）
産地（欧文）	生産国が日本であれば、「生産県（都道府県）コード」を入力する。
原産国（欧文）	生産国が日本以外であれば「国名及び州名（地域）コード」を入力する。
栽培地検査情報等	栽培地検査の施設番号等があれば入力する。
用途（ePhyto 用）	電子植物検疫証明書（ePhyto）発行要求が「Y」の場合、「ePhyto 用途・分類・状態コード（輸出用）」を入力する。
分類（ePhyto 用）	電子植物検疫証明書（ePhyto）発行要求が「Y」の場合、「ePhyto 用途・分類・状態コード（輸出用）」を入力する。
状態（ePhyto 用）	電子植物検疫証明書（ePhyto）発行要求が「Y」の場合、「ePhyto 用途・分類・状態コード（輸出用）」を入力する。

（注）申請等に使用する各種コード類について

a. 以下のコードについては、植物防疫所が設定するコードを利用します。

NACCS 掲示板の業務コード集「植物検疫業務関連コード」をご参照ください。詳細は最寄りの植物防疫所にお問い合わせください。

- 所・業務担当コード（輸出検査申請）
- 輸送形態コード
- 国名及び州名（地域）コード
- 種類・名称コード（大中小細分類コード）
- 種類・名称コード（植物コード）
- 梱数・数量コード
- 生産県（都道府県）コード
- ePhyto 対象国コード
- ePhyto 用途・分類・状態コード（輸出用）

b. 以下のコードについては NACCS 提供のコードを利用します。

NACCS 掲示板の業務コード集をご参照ください。各コードの詳細は NACCS センターにお問い合わせください。

- 国連 LOCODE
- 輸出入者コード

(2) 輸出検査申請（再輸出）を行う

新規に申請を行う場合は、EPD（輸出植物検査申請事項登録（再輸出））を選択し、必要事項を入力・登録（送信）し、EPC（輸出植物検査申請）で申請（送信）を行ってください。また、EPDのみを行い、後でEPB（輸出植物検査申請事項呼出し）で呼び出して申請（EPC）を行うこともできます。

【共通部】（EPD（輸出植物検査申請事項登録（再輸出））画面）

【繰返部】（EPD（輸出植物検査申請事項登録（再輸出））画面）

画面入力ガイド

【共通部】

申請番号	「所・業務担当コード（輸出検査申請）」（申請先の所コード 3 桁＋業務担当コード 2 桁）を入力する。申請通番は自動的に割り振られる。
協会経由	協会経由の場合は「Y」を入力する。協会から申請情報が参照可能になる。
控出力	入力控を出力する場合は「Y」を入力する。
電子植物検疫証明書 （ePhyto）発行要求	「ePhyto 対象国コード」の対象国であり、電子植物検疫証明書（ePhyto）発行要求を行う場合は「Y」を入力し、行わない場合は「N」を入力する。
積載船（機）名（欧文）	積載船名または積載機名がわかる場合は入力する。
輸送手段	「輸送形態コード」で入力する。
記号及び番号	梱包に付される記号等を入力する。不要の場合は「NONE」と入力する。
積載予定年月日	積載予定日を入力する。
積載港名（欧文）	輸出港・空港名を入力する。
陸揚港名（欧文）	陸揚港を「国連 LOCODE」で入力する。コードが不明の場合は「ZZZZZ」を入力し、陸揚港名を入力する。

輸入国名（欧文）	「国名及び州名（地域）コード」で入力する。
荷送人氏名（欧文）	「輸出入者コード」または法人番号を入力する。コードが無い場合は空欄とし、荷送人氏名を入力する。
荷送人住所（欧文）	荷送人住所を入力する。
荷受人氏名（欧文）	荷受人氏名を入力する。
荷受人住所（欧文）	荷受人住所を入力する。
輸入国政府の輸入許可番号	輸入許可証がある場合は入力する。
生産国の検査合格証明書 No.	日本に輸入された際の植物検疫証明書（phytosanitary certificate）の番号を入力する。
原本／原本写	いずれかに「Y」を入力する。通常は原本写。
再梱包の有無	再梱包有の場合は「Y」を入力する。
容器包装変更の有無	容器包装変更有の場合は「Y」を入力する。
輸入時の植物防疫所の申請番号	日本に輸入された際の植物検疫の申請番号を入力する。
輸入後の保管場所	輸入後の保管場所を入力する。
輸入後の保管方法	輸入後の保管方法を入力する。
合計梱数（単位含む）	証明書に記載する合計梱数を入力する。
記事	植物防疫所への連絡事項等を入力する。検査希望日時・場所、担当者名、連絡先の入力を推奨。

【繰返部（欄部）】

種類・名称	種類・名称コード（大中小細分類コード、植物コード）で品目を入力する。大分類 2 桁＋中分類 2 桁＋植物コード＋小分類 2 桁＋細分類 2 桁で入力する。（例：飼料用トウモロコシ 07-13-62922100-(空欄)-(空欄)）
学名（欧文）	学名を入力する。
ブランド・品種名	ブランドや品種名を入力する。
種類数	種類数を入力する。1 品目に 1 種類の場合は「1」を、球根等品種単位で検査する場合はその種類数を入力する。
梱数（単位含む）	梱数を入力する。
数量	「梱数・数量コード」の単位に沿った数量を入力する。
数量（単位含む）	証明書に記載する数量を入力する。（左欄に数量、右欄に単位）
原産国（欧文）	「国名及び州名（地域）コード」を入力する。
発送国（欧文）	「生産国の検査合格証明書」の発行国を「国名及び州名（地域）コード」で入力する。

栽培地検査情報等	栽培地検査の施設番号等があれば入力する。
用途（ePhyto 用）	電子植物検疫証明書（ePhyto）発行要求が「Y」の場合、「ePhyto 用途・分類・状態コード（輸出用）」を入力する。
分類（ePhyto 用）	電子植物検疫証明書（ePhyto）発行要求が「Y」の場合、「ePhyto 用途・分類・状態コード（輸出用）」を入力する。
状態（ePhyto 用）	電子植物検疫証明書（ePhyto）発行要求が「Y」の場合、「ePhyto 用途・分類・状態コード（輸出用）」を入力する。

（注）申請等に使用する各種コード類について

a. 以下のコードについては、植物防疫所が設定するコードを利用します。

NACCS 掲示板の業務コード集「植物検疫業務関連コード」をご参照ください。詳細は最寄りの植物防疫所にお問い合わせください。

- 所・業務担当コード（輸出検査申請）
- 輸送形態コード
- 国名及び州名（地域）コード
- 種類・名称コード（大中小細分類コード）
- 種類・名称コード（植物コード）
- 梱数・数量コード
- ePhyto 対象国コード
- ePhyto 用途・分類・状態コード（輸出用）

b. 以下のコードについては NACCS 提供のコードを利用します。

NACCS 掲示板の業務コード集をご参照ください。各コードの詳細は NACCS センターにお問い合わせください。

- 国連 LOCODE
- 輸出入者コード

(3) 申請内容を訂正する

1. 申請者から申請先植物防疫所に電話等で変更承認依頼を行います。
2. 植物防疫所側で審査・変更承認が行われます。変更後は変更の回数分、申請番号に枝番号(/数字)が付与されます（例：変更 1 回目の場合→700-91-0000001/1）。
3. 申請者は EPB で変更後の申請番号で該当する申請を呼び出し、EPA または EPD で申請内容を訂正し（EPA/EPD で送信を行うと一時保存状態となります）、EPC で訂正後申請を行ってください（EPC で送信を行うと本申請となります）。

(4) 申請状況を確認する

EIP（輸出植物検査申請個別詳細）では、1 申請について詳しい申請内容を確認することができます。EPI（輸出植物検査申請一覧照会）では、複数申請について申請内容や申請状況の一覧を確認することができます。

5 トラブル解決手順とお問い合わせ先

- (1) 植物防疫所、NACCS の Web サイトに掲載されているお知らせ情報やマニュアル、FAQ、コード表等をご参照ください。
- (2) (1) で解決しない場合、システムエラー等のシステム運用関係の問合せは、NACCS センターヘルプデスクにお問合せください。植物コード等の植物検疫の手続き関係は、申請先植物防疫所または横浜植物防疫所リスク分析部情報分析担当（NACCS 担当）にお問合せください。植物防疫所の連絡先は、植物防疫所 Web サイトでご確認ください。お問合せの際は、エラーメッセージやエラー番号、該当する業務名、申請番号等の事前確認をお願いします。